

令和2年4月17日

町民の皆様へ

4月16日に国より「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」が発令され、扶桑町もその区域に入りました。

町民の皆様におかれましては、ウイルスが見えないだけに不安が募り、次第に恐怖の気持ちへと変わる中でお過ごしのことと思います。

児童生徒、そして保護者の皆様、学校を休みにさせて頂いておりますが、家での我慢も続いており、いつ再開になるのだろうと心待ちにされていることと思います。

さらに、医療関係者や食料品等のお店の皆さん、福祉施設や保育園で働く皆さんなど、この感染症の治療や予防、私たちの暮らしを支えるために感染リスクの恐怖の中、強い使命感で昼夜を問わず奮闘して頂いている全ての方々に心から敬意の念を申し上げ、厚く感謝いたします。

今回の新型コロナウイルス感染症は、20世紀最大の疫病と言われたスペイン風邪に匹敵する脅威と言われており、感染の広がりやスピードは凄まじいものがあります。これは、技術革新により人の移動が広範囲かつ迅速になったことによるものかもしれません。

そして、今回のウイルスの特徴として、感染したことが分かりにくく、発症まで時間がかかること、さらに、軽症で済む場合もあり、知らず知らずのうちに他の人に移してしまう恐れがあるという、私たちが初めて経験することかも知れません。

私から皆様にお願ひがあります。

「自分がウイルスに感染しない」ことも大切ですが、ぜひ「知らず知らずのうちに誰かに移さない」という気持ちも強く持って頂き、あらゆる努力を惜しまないでください。

そして今、大好きな友達と会えない、遊べない、勉強も出来ずに我慢している子どもたちを私たち大人で守りたいのです。親御さんにとってお子さんは宝ですが、地域にとっても大切な宝だからです。

人類の歴史は、疫病との闘いと言われていています。

チフス、ペスト、天然痘など私たちの先祖は、幾度もの難局を乗り越え克服してきました。

皆さん、長引く自粛で心身ともに疲労が溜まっておられることと思いますが、このウイルスとの戦いは、ワクチンが出来てこそ終息を迎えるはずであり、おそらく息の長い闘いを覚悟する必要があります。

しかし、私は、今の技術なら想定を上回るスピードで治療薬が見つかり、ワクチンが完成するのではないかと期待をしております。

そのためにも、まだまだ先は見えませんが、この町の、この国の、そしてこの世界の子どもたちの将来のために皆で今の我慢を緩めることなく感染拡大を防ぎ、医療関係者や私たちの暮らしを最前線で守ってくださっている方々に微力ながらも感謝の気持ちを届けようではありませんか。

皆様のご協力を重ねてお願い申し上げます。

扶桑町長 千 田 勝 隆